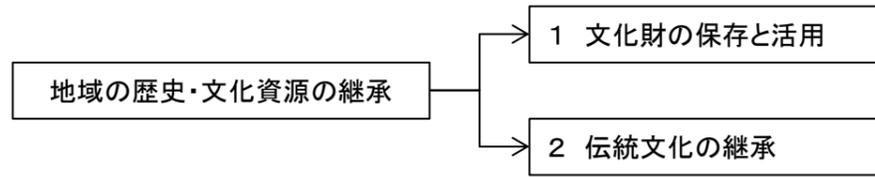


## 施策5 地域の歴史・文化資源の継承



### 基本事業1 文化財の保存と活用

主要事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標		
文化財調査研究事業	埋蔵文化財	埋蔵文化財を記録保存する。調査報告書を作成し、調査結果を公開する。	個人住宅建設に伴う宮野貝塚発掘調査、発掘調査資料の整理、開発行為に伴う事前調査	①発掘調査による出土遺物量 ②発掘調査報告書を刊行した遺跡数	①箱 ②遺跡	①250 ②2	①200 ②0	①100 ②1	A 復興関連事業で激増した開発行為に伴い、埋蔵文化財発掘調査件数も増大したが、計画的に調査を行っている。	○ 必要に応じて、計画的な調査を実施する。
博物館展示事業(再掲)	市民 碓氷海岸を訪れる観光客	気仙地域の自然と文化について学ぶことができる。	常設展示の公開、館内説明の実施、展示資料及び展示設備の維持管理、常設展示資料の追加・更新、企画展示・特別陳列の実施、特別展リーフレットの刊行	博物館利用者数	人	9,871	9,589	9,500	A 関係機関・団体等の支援もいただきながら、多彩な展示に努め、ほぼH32年度目標値に近い入館者数を確保。	○ 今後も、可能な限り関係機関・団体等の支援をいただきながら、より魅力的な展示に努めていく。



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標	
文化財の保存と活用	①文化財 ②市民	①適切に保存・継承される。 ②地域の歴史を知り、郷土への愛着を育む。	①国、県、市の指定文化財の件数 ②博物館資料登録件数 ③博物館入館者数	①件 ②件 ③人	①87 ②6,271 ③9,871	①87 ②6,273 ③9,589	①88 ②6,290 ③9,500	A 有形・無形の文化財の保存は適切に行われている。文化財の活用についても、各種団体等の支援を受けながら着実に実施されている。

基本事業(2) 伝統文化の継承

主要事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標		
こども郷土芸能まつり開催支援事業	郷土芸能団体の青少年	郷土芸能に携わる自信と誇りを培う。	こども郷土芸能まつりの開催	祭りに参加して「とてもよかった」、「よかった」とアンケートに答えた出演者の割合	%	-	94.8	95	A 出演者の満足度が高かった。	● 郷土芸能の後継者育成への寄与度など、事業費支出に見合った成果が得られているか、更なる検証を要する。
文化財保護管理事業	指定文化財、埋蔵文化財、市内で開発行為を行う事業者、市民	文化財が現状維持される。文化財が無断で破壊されない。	文化財公有地等の刈払い、国特別天然記念物ニホンカモシカの保護及び滅失処理、天然記念物銘木樹勢回復、民俗芸能の育成支援、開発行為に係る埋蔵文化財の保護指導など	①滅失せず現状が維持された指定文化財数	①件	①87	①87	①87	A 文化財の保護・管理はおおむね適切に行われている。	○ 市指定文化財の指定基準や手順を明確にする必要がある。
				②郷土芸能協会加盟団体出演回数	②回	②49	②73	②50		
				③埋蔵文化財の保護指導数	③件	③50	③47	③50		



基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	H27実績	H28実績	H32目標	
伝統文化の継承	伝統芸能継承団体	後継者を育成し、伝統文化を継承する。	①大船渡市郷土芸能協会加盟団体数	①団体	①32	①32	①32	A 少子高齢化、人口減少の進行などにより後継者不足と言われる中、関係者の努力により、郷土芸能をはじめとする伝統文化が継承されている。
			②「郷土芸能や地域の祭などが盛んである」と答えた市民の割合(市民意識調査)	②%	②54.8	②51.9	②50.0	

□総括

施策名	対象	意図	成果指標				進捗度とその理由等	
			項目	単位	H27実績	H28実績		H32目標
地域の歴史・文化資源の継承	市民	郷土の伝統や文化を知り、郷土に誇りと愛着を持つ。	「郷土の伝統文化や文化財を大切にしたい」と答えた市民の割合(市民意識調査)	%	81.7	80.2	80.0	A 復興関連の開発行為件数の増加に伴い、多量の埋蔵文化財が出土したため、専門職員が中心となって発掘調査や整理作業を精力的に行っており、当市の埋蔵文化財の質・量とも充実が図られている。 郷土芸能の伝承については、震災後、改めてその価値が見直されるとともに、地域外の人々の参画や体験・他地域との交流を推進するなど、新たな取組みがなされている。 震災後、被災により継続が危ぶまれた郷土芸能保存団体も多く見られたが、全国からの支援を受け再生に取り組んだ結果、郷土の伝統文化の価値を再確認し、大切に保存伝承しようという動きが活発化した。

<課題>  
 ・少子高齢化・人口減少が進行する社会情勢を踏まえた、伝統芸能の後継者確保対策の充実  
 ・文化財を活用した市の魅力発信や交流人口拡大のための取組みの拡充